

# 新たな計画でのまちづくりがスタートしています

平成29年度から36年度まで、8年間のまちづくりの新たな指針となる第四次宜野湾市総合計画を策定しました。その概要をお知らせします。

## 第四次宜野湾市総合計画とは

宜野湾市のまちづくりの基本となる計画（最上位計画）です。将来のまちのあるべき姿（将来都市像）を掲げ、長期的な視点で体系的、計画的に事業を進めていくために策定しています。

## 総合計画の内容

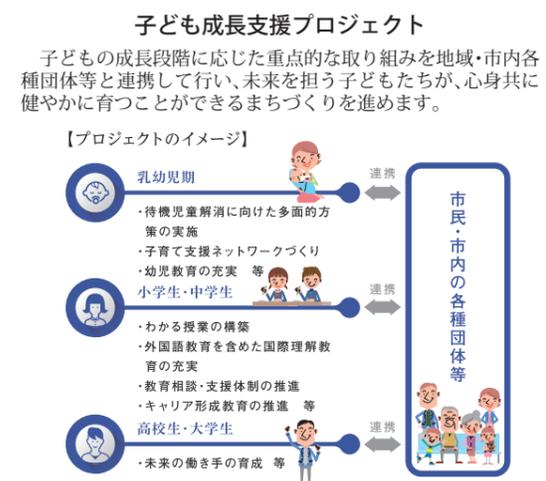
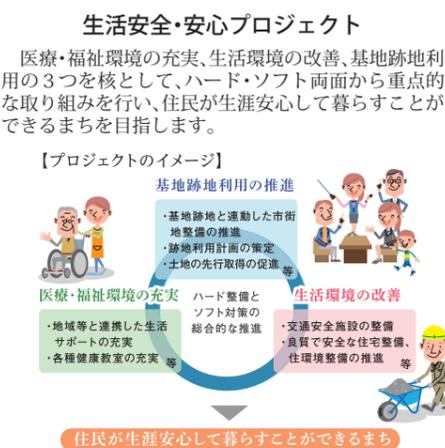
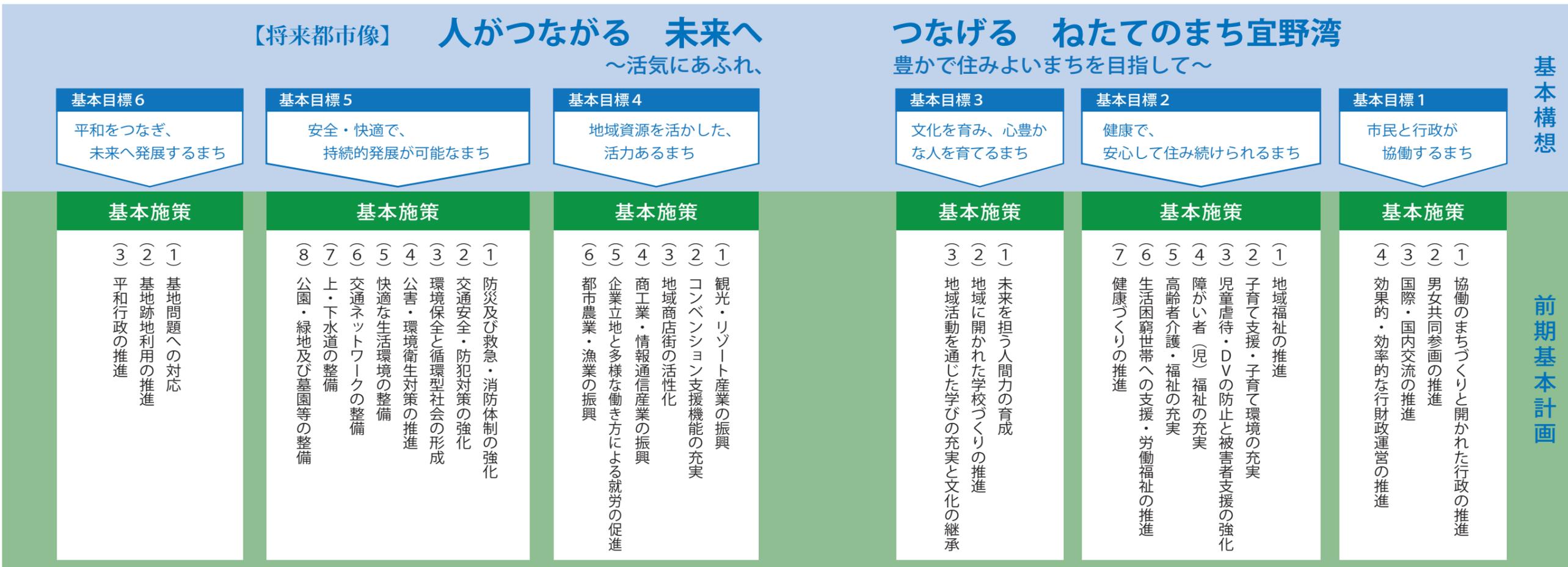
将来都市像を「人がつながる 未来へ 来へつなげる ねたてのまち宜野湾」を掲げ、豊かで住みよいまちを目指して、6つの基本目標と31の基本施策を体系づけています。

また、取り組みに明確な方向性を与えるため「目標指標」を設定し、計画の進捗管理を行います。

第四次総合計画の体系は、下の図のとおりです。

## 計画策定までの取り組み

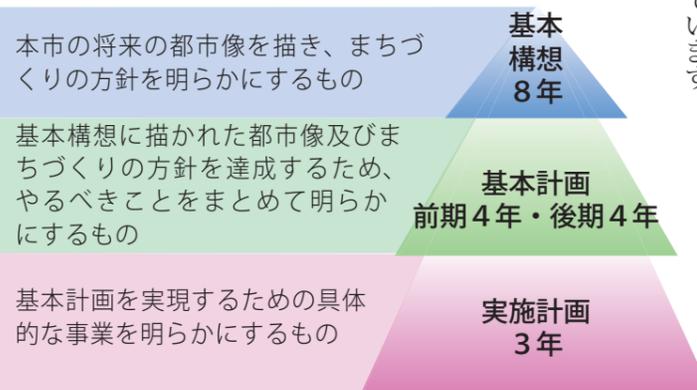
計画策定にあたっては、「市民意識調査（アンケート調査）」、「ぎのわん・未来ワークショップ」、「パブリックコメント」など様々な形で市民の皆様の声を反映できるように取り組みました。特に、ぎのわん・未来ワークショップでは、市民と市職員が協働し、将来の宜野湾市について話し合いを行いました。また、審議会や庁内でも多くの議論を重ね、計画策定に向け取り組みました。「基本構想」については、平成28年12月議会の議決を経て策定し、「前期基本計画」については、平成29年3月議会の議決を経て策定しました。



に成果が特に望まれる施策・事業について、分野を横断し総合的に進めることにより、相乗効果を発揮させます。

第四次総合計画では、「新たな取り組み」として「重点プロジェクト」を設定しました。前期基本計画の中

## 2つの重点プロジェクト



総合計画は、「基本構想」、「基本計画」及び「実施計画」で構成されています。

## 総合計画の構成